

TEZZO流儀で厳選された逸品 躍動する美しさを味方につける!

リムエンドまで伸びたスポークの先端部にはアルミ削り出しのエクステンションがボルトを使って鎮座する。その佇まいが質実剛健なキャラクターを和らげて、機能美に深みを出す効果が絶大。実力に余裕を感じるフォルムだ
写真●柳田由人 文●高根英幸

SAMPLE



↑ 細身の5スポークは、鍛造ならではのシェイプで薄さと硬質感を伝えてくる。ボルト止めのエクステガ、そんな造形美に拍車をかける



↑ テッツォが現在開発中のゴルフ7GTI。リアの車高を微調整できるローダウンスプリングなどこだわりは随所に込められる。テッツォ TEL.045-948-5538 www.tezzo.jp

Prodrive

問●プリDESTONリテールジャパン TEL.0120-036710
www.prodrive-japan.com

GC-05N × VW GOLF GTI



↑ ブラッシュド(左)のサイズは8×19+50。225/35のポテンザS001を組み合わせる。ブリティッシュブラック(右)は8.5×18+45。タイヤはポテンザRE11Aの225/40



美しさのなかに存分に
実力を押し込めた魅惑の逸品
GC-05N。登場以来、多くの高性能モデルの足もとを彩ってきた人気ホイールにまたひとつ、榮譽が与えられた。

ゴルフ7GTI用のメニューを開発中のテッツォが、そのホイールに選んだのはGC-05N。これまでもアルファ Romeo 用に専用インセットなどオリジナルホイールをプロドラッグとコラボしてきた。そんな経緯など振り返ることなく、迷いなしにこの逸品に目をつける。

テッツォの太田代表は、今まで多くのイタリア車をリファインしてきたから、デザインについての妥協はない。走りも美しさの両面を満足させるホイールとしてのチョイスだ。

その上で目的に合わせてふたつのサイズを提案。19インチはブラッシュドの質感でエレガントさを薫らせる。『プロドライブは全体的に軽いけれど、鍛造のGC-05Nは特に軽い。これは乗り心地にも効果的。だから19インチが使える』と太田代表。

そしてサーキット走行など走りを重視する向きのためには18インチ。「スバルタンな印象のブリティッシュブラックにポテンザRE11Aを履かせて、速さを追求させたい」
速さに美しさを重ね合わせる。それが走りの情熱へとつながっていく。

